

製品名 クレイジースモール AirFT S/N: A4FT

製品番号 CZSMAIR

開発製造 cooyou.org ホームページ <https://cooyou.org/airft>

お問い合わせ先 admininfo@cooyou.org

仕様

インターフェース	マイクロUSB USBバスパワーで動作
動作OS	Windows,macOS,Linux,Android,iOS 標準ドライバで動作 スマートフォンやタブレットはUSBホスト機能とOTGケーブルが必要です。iOS機はセルフパワーHUBが必要かもしれません。
ボタン	側面A,B,C (USB近くからA、中央B、離れたC)
センサー	赤外線 4移動方向検知 (左右上下)
プリセット	A,B,Cの3つ。各ボタンで切り替え。 それぞれ感度、キー出力モードを設定可能 プリセットごと左右上下にそれぞれに最大3つのキー登録 初期値は以下 (左,右,上,下順) : プリセットA* Ctrl+C,Ctrl+V,Ctrl+X,Ctrl+A (※注1) プリセットB 矢印左,矢印右,矢印上,矢印下 プリセットC マウス中,なし,マウス右,マウス左
設定項目	OS (*Windows,macOS) *が初期値 感度 (*低感度、中感度、高感度) キー出力モード (*瞬間、連続) 連続時の時間間隔 (*低速、中速、高速) オールリセット
登録キー	日本語キーボードのキー、マウスクリック
ケース 色	ABS樹脂 黒
幅.奥行.高さ 重さ	38x46x18mm 20g
付属品	取扱説明書 * USBデータケーブルは付属しません
保証期間	6ヶ月

本体は主にプラスチック素材で出来ておりますので、強い力で押したり強い力で操作すると破損の恐れがあります。保証外となりますのでご注意ください。

※注1 Ctrlは右Ctrl(106番)を使用。macOSの場合はCtrlをCommand(98番)に置き換える設定で同様の操作が可能です。

電源

接続先機器が起動状態で、本機にUSBケーブルを接続するとON,線を抜くとOFFとなります。充電専用ケーブルでは動作しませんのでご注意ください。
iOS機はバスパワーで動作しない可能性があります。セルフパワーHUBが必要かもしれません。スマホやタブレットはOTGケーブル経由で接続します。



通常の使用方法

電源ONの後でセンサー上空で左右上下に手を動かすと、移動方向によってキーボード (またはマウスクリック) 出力されます。A,B,Cの各ボタンを押すことでプリセットを選択できます。選択は記憶されますので、次回以降は側面ボタンを押す必要はありません。反応範囲は上空約20cmまでです。赤外線に反射する面積や素材にもよります。完全に電源をOFFするにはUSBケーブルを抜いてください。中心からUSB端子の方向が上方向です。

OS設定

macOSをご利用の場合は、AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

macOSの場合は、もう一度AボタンとBボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

OSの画面上に設定画面が出ます。左シフトキー横の入力画面では、Aボタン、右シフトキー横の入力画面ではBボタンを押すと認識されます。

その後、電源OFFします。

Windowsをご利用の場合は、Bボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。電源OFFします。設定は記憶されます。(Windows用が初期設定のため、通常は設定不要です)

感度 (現在選択しているプリセットに対して設定されます)

BボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Aボタンを押すと低感度、Bボタンを押すと中感度、Cボタンを押すと高感度です。どれかを押します。

その後、電源OFFします。設定は記憶されます。

キー出力モード（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

AボタンとCボタンの両方を押しながら電源ONします。ボタンを離します。

Bボタンを押すと「瞬間」モード、Cボタンを押すと「連続」モードとなります。どちらかを押して下さい。設定は記憶されます。

「連続」を選択した場合はさらに時間間隔を設定します。

Aボタンを押すと低速、Bボタンを押すと中速、Cボタンを押すと高速となります。どちらかを押して下さい。

その後電源OFFします。設定は記憶されます。

以下ではキー押下（プレス） キー離す（リリース）と表記します。

3つのキーが登録されているものとして説明します。登録が無い場合は処理をスキップします。

「瞬間」

移動方向を検知すると、

1プレス、2プレス、3プレス、3リリース、2リリース、1リリースとなります。

「連続」

移動方向を検知すると、

1プレス、1リリース、2プレス、2リリース、3プレス、3リリースとなります。

プレスとリリース間に短い時間間隔、リリースとプレス間には長い時間間隔が入ります。

※キーを押し続けるというモードは本機にはありません。同シリーズの他機種では対応しているものがあります。

登録キー（現在選択しているプリセットに対して設定されます）

次ページのキーボード図の番号を登録できます。

基本的にはWindows用となります。macOS設定の場合は青字の変更が相当します。0番は登録なしとなり、113,114,115はマウスクリック用です。

番号をキーボード出力して確認しながら設定しますので、OSの画面でメモ帳などのエディタを開いてください。英数字を直接入力できるようにしてください。

Aボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

すると、現在の番号が出力されます。これは左方向の設定です。。
例えば、A,L,1 100 のように出力されます。

プリセットAの左Left方向の1番目のキー登録に100番（スペースキーに相当）が設定されてます。という意味です。

（プリセットAまたはBまたはC）, （移動方向 左Left,右Right,上Up,下Downの頭文字）
, （1または2または3番目） （登録番号）

Aボタンを押すごとに登録番号が+10されます。Bボタンを押すごとに1の位が+1されます。押すごとに情報が出力されます。最大値を超えると桁が0に戻ります。

（変更しない場合はA,Bボタンを押す必要はありません）

登録番号はボタンを押した時点で変更が記憶されます。

電源はいつでもOFFにできます。

登録番号が決まったら（もしくは登録変更しない場合は）、次にCボタンを押すと2番目のキーの登録が出来ます。

同様に、A、Bボタンで番号を決定後、Cボタンを押すと3番目のキー登録ができます。同様にA、Bボタンで番号を決定後、Cボタンを押すと、方向が変わります。方向はLeft,Right,Up,Downの順で変わります。そして1番目のキー登録となります。

途中で電源はいつでもOFFにできます。

Downの3番目まで登録されると次はなにも設定しません。電源OFFしてください。

オールリセット

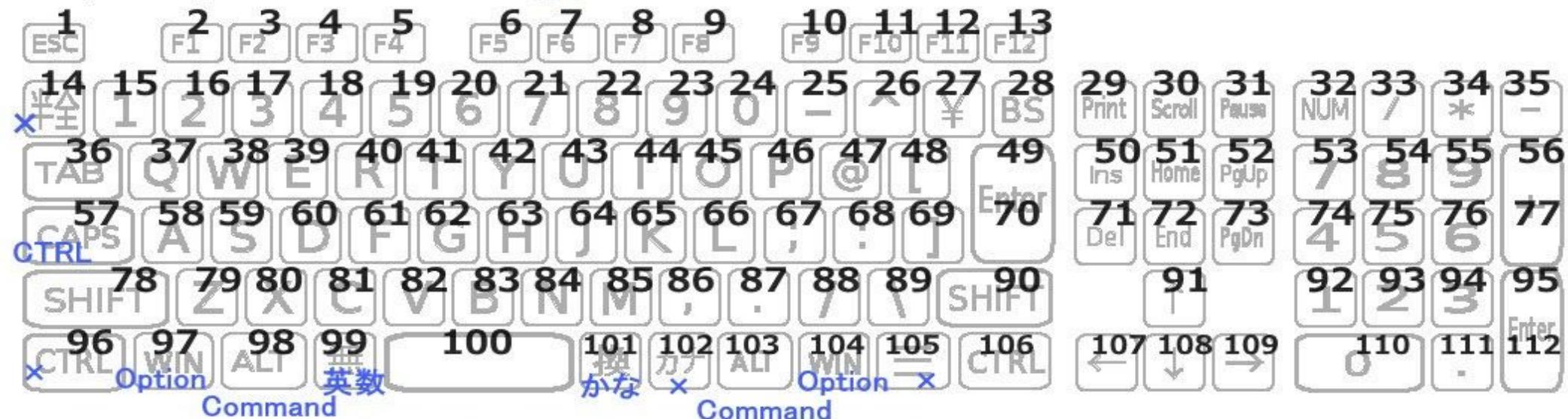
出荷時の設定に戻すことができます。

A、B、Cの全てのボタンを押しながら電源ONします。ボタンを離します。

オールリセットされましたので、電源OFFします。

0 (None)

macOS — 青字



Mouse Button : 113 (Left) 114 (Right) 115(Middle)

		Left	Right	Up	Down	
A	●	Preset A	Ctrl(106)+C(81)	Ctrl(106)+V(82)	Ctrl(106)+X(80)	Ctrl(106)+A(58)
B	●	Preset B	←(107)	→(109)	↑(91)	↓(108)
C	●	Preset C	Middle(115)	None(0)	Right(114)	Left(113)

